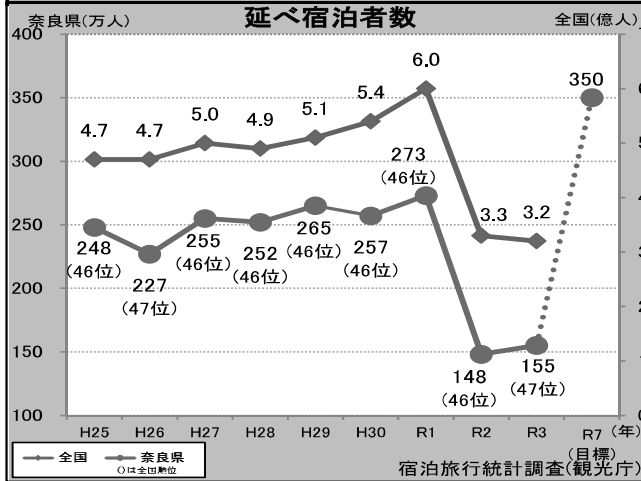


II 賑わう「都」をつくる

3 滞在型観光の定着

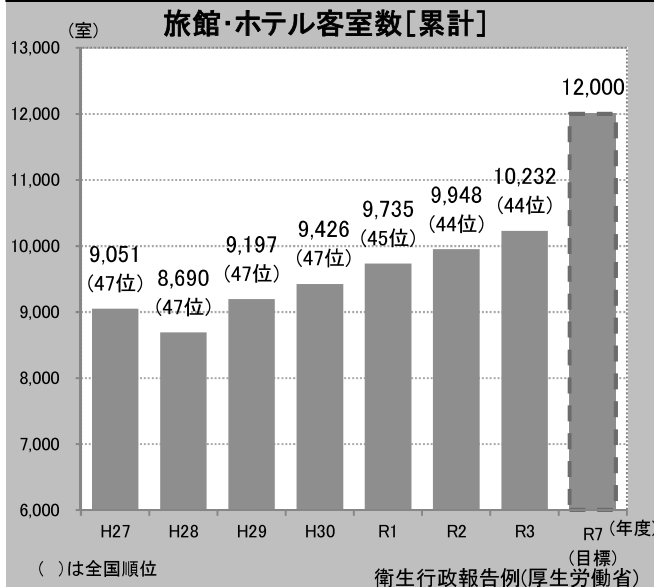
担当部局等：産業・観光・雇用振興部、観光局

政策目標(KGI)		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
令和7年までに延べ宿泊者数を350万人にします。				目安値(b)	進捗率(a/b)	
		H 25	R 3	R 3	49.1%	R 7
		248	- 93 万人	155	316	③90%未満 (基準値未満)
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)						
新型コロナウイルス感染拡大から2年目となる令和3年の延べ宿泊者数は、基準値を下回り155万人となりましたが、前年と比べると7万人の微増となりました。						
背景・要因等						
新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだことに加え、県民を対象とした「いまなら。キャンペーン」の実施により、県民による県内旅行の新たな需要が高まったことが要因と考えられます。						



各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

テーマ	(9) ホテル誘致	責任者	産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課長				
戦略目標(KPI)							
令和7年度までに旅館・ホテル客室数を12,000室にします。							
		基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)	
		H 27	R 3	R 3	94.6%	R 7	
		9,051	+ 1,181 室	10,232	10,820.4	②(90~100%) 12,000 (40.0%)	
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)							
令和3年度の県内旅館・ホテル客室数は平成27年度の9,051室(全国47位)から1,181室増加し、10,232室(全国44位)となり、進捗率は94.6%となっています。							
背景・要因等							
今後のインバウンド需要の増加を見込み、国内外のホテル事業者から魅力的な立地先として注目されています。また、継続して取り組んでいるホテル誘致の効果もあり、ホテルの新規開業が進み、客室は増加を続けています。							
R4年度の取組・成果							
宿泊施設立地促進補助金は3件を新規認定し、これにより令和6~7年度に宿泊室数が245室増加する見込みです(制度創設の令和3年度以降延べ5件の認定)。また、宿泊施設支援資金利子補助は2件を新規事業認定し、これにより県内宿泊施設の質と量の向上に寄与しました(平成26年度から延べ63件が活用)。							
関連指標				指標の動き			
宿泊施設立地促進補助金の活用件数(件)				R3年度		R4年度	
				2		3	
宿泊施設支援資金利子補助の活用件数(件)				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
				8	1	2	2

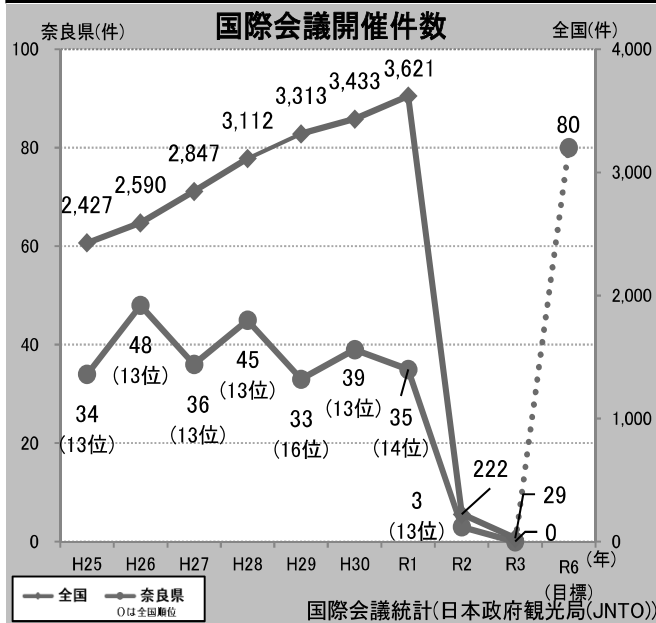


テーマ (10) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

責任者 観光局
MICE推進室長

戦略目標(KPI)
令和6年までに国際会議開催件数を80件にします。

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 25	R 3	R 3	0.0%	R 6
34	- 34 件	0	67.5	③90%未満 (基準値未満)



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

県内における国際会議開催件数は、近年横ばいで推移していましたが、令和2年の実績値は3件、令和3年の実績値は0件と大幅に減少しました。

背景・要因等

令和2年度に奈良県コンベンションセンターが開業し、積極的な誘致活動や国内の商談会へ出展したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国際会議の開催は事実上困難な状況に陥り、開催件数は大幅に減少しました。

R4年度の取組・成果

国内最大級のMICE(注)商談会への出展や国内外のMICE関係者からの情報の収集や提供を積極的に行いました。出入国制限緩和後は、海外の商談会に出展したほか、ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラムをはじめとする国際会議を開催しました。

(注)MICE… Meeting, Incentive travel, Convention, Exhibition/Eventの頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称

II 賑わう「都」をつくる

4 魅力ある観光地づくり

担当部局等：観光局、県土マネジメント部、地域デザイン推進局

政策目標(KGI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
令和7年までに観光入込客数を5,100万人にします。	H 25	R 3	R 3	52.7%	R 7
	3,547 万人	-1,132 万人 2,415	4,582.3	③90%未満	5,100 (基準値未満)
<p>観光入込客数</p> <p>共通基準による観光入込客統計(観光庁)</p>					
<p>評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)</p> <p>令和3年の観光入込客数は、基準値を下回り2,415万人となりました。また、前年と比べると208万人の減少となりました。</p>					
<p>背景・要因等</p> <p>新型コロナウイルス感染症が拡大し、首都圏や近隣府県に緊急事態宣言が発出された影響を受け、県外からの観光客は減少しましたが、県民を対象とした「いまなら。キャンペーン」の実施により、県内旅行の需要が高まり、令和2年と比べ微減にとどまりました。</p>					

数値目標が設定されていないテーマ等の進捗状況

テーマ	(11) 奈良県観光総合戦略の実行	責任者	観光局 ならの観光力向上課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
奈良県観光総合戦略に掲げる「世界中に名を馳せる観光地・奈良」の実現に向けて施策を推進します。		奈良県観光総合戦略の実現に向け、「山の辺の道」エリアにおいて、事業者・行政が連携した観光地づくりを行うとともに、地域の核となる観光人材育成プログラム、研修会やシンポジウムの開催を通して、観光振興における土台づくりを推進しています。 周遊拠点として泊まりたい奈良の実現に向け、観光需要を喚起する宿泊キャンペーンを実施しました。 令和4年度に奈良県観光総合戦略推進補助金を創設し、市町村等の取組に対し支援しました。	
テーマ	(12) 奈良公園中枢地プロジェクト(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)	責任者	地域デザイン推進局次長 (技術担当)
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
奈良県文化会館について、文化ゾーンの魅力向上のため、令和8年度のリニューアルオープンを目指します。		令和5年度のリニューアル工事の着工、令和8年度の再オープンに向けて、令和4年度に計画どおり実施設計を完了しました。 【R5予算執行査定の結果:費用対効果の観点から現行計画を見直したうえで、戦略目標達成を目指します。】	
吉城園周辺地区について、奈良公園のさらなるアメニティの向上のため、令和5年度のまちびらきに向けた整備を進めます。		令和5年8月の開業に向け、奈良公園の風情に調和した宿泊施設の整備を行いました。	

テーマ	(13) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備	責任者	地域デザイン推進局次長 (技術担当)
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
大宮通りの景観・環境整備を引き続き進めます。		年2回の花の植え替え、冬季のイルミネーション設置を行いました。	
近鉄奈良駅前の景観・環境整備を地元商店街・地元自治会の人々と協力して進め、令和4年度中に整備内容を決定することを目指します。		地元自治会等が参加する勉強会で伺った様々な意見をもとに、関係者と協議を進めてきました。依然、限られたスペースでの制約や課題が多い状況です。このため、引き続き関係者の意見を伺いながら、整備内容の決定に向けた取組を行っています。	

テーマ	(14) 平城宮跡歴史公園の整備	責任者	地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
朱雀大路東側の歴史体験学習館は令和7年度の完成を目指します。		【R5予算執行査定の結果:新たな建物の建設を前提とするのではなく、必要があれば既存の施設を活用しつつ、今後のあり方を再検討し、観光地としての魅力の抜本的強化に取り組むなど、歴史公園のさらなる賑わいや魅力の向上を図るための検討を実施し、戦略目標を改めて検討します。】	

テーマ	(15) 中町「道の駅」の整備	責任者	県土マネジメント部 道路政策官(道路建設課長事務取扱)
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
令和5年度のオープンを目指します。		令和4年10月に管理運営を行う指定管理者を決定しました。造成工事が完了し、令和4年11月から新築工事に着手しました。	

テーマ	(16) 自転車の周遊環境整備と安全利用	責任者	県土マネジメント部 道路マネジメント課長
戦略目標(KPI)		進捗状況及び取組・成果	
世界遺産周遊サイクルートの整備等を推進します。		全線約70kmの案内誘導サイン等の設計を実施しました。	
		【R5予算執行査定の結果:緊急性の高い案内サインの整備を進め、戦略目標達成を目指します。】	

II 賑わう「都」をつくる

5 魅力向上・発信

担当部局等：観光局、食と農の振興部

政策目標(KGI)	基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
			目安値(b)	進捗率(a/b)	
令和7年までに観光消費額を2,100億円にします。	H 25	R 3	R 3	53.2%	R 7
	1,288	- 315 億円	973	③90%未満	2,100 (基準値未満)
観光消費額 					
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等) 令和3年の観光消費額は、973億円となり基準値を下回りましたが、前年と比べると147億円増加しました。					
背景・要因等 令和3年の観光消費額が増加した主な要因としては、「いまなら。キャンペーン」の実施により、滞在時間の長い宿泊利用が増え、1人あたりの観光消費額が前年比で399円(8.1%)増加したことが考えられます。					

各テーマの戦略目標(KPI)達成に向けた進捗状況

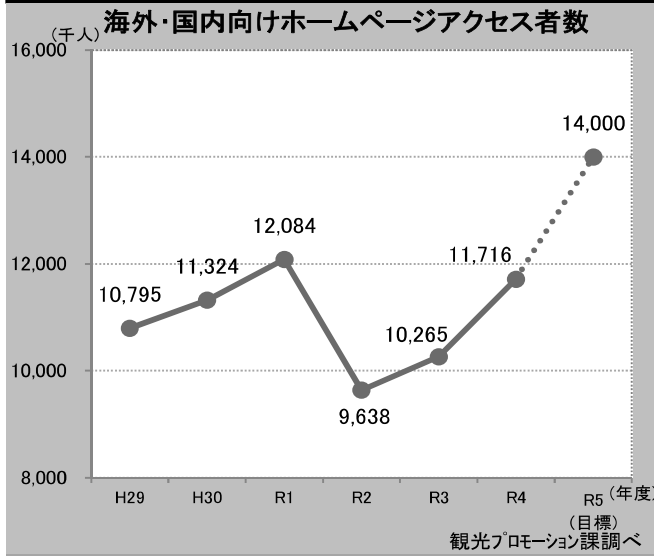
テーマ	責任者										
(17) 食の振興	食と農の振興部次長 (豊かな食と農の振興課長事務取扱)										
戦略目標(KPI) 令和5年度までに奈良フードフェスティバル1日当たり来場者数を13,500人/日にします。											
奈良フードフェスティバル 1日当たり来場者数 											
評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等) 奈良フードフェスティバルの1日当たりの来場者数は、基準値から毎年順調に増加し、令和4年度には、目標値を上回りました。											
背景・要因等 県産食材による奈良の美味しい食を楽しんでもらうため、食の賑わいづくりを継続的に実施してきました。令和4年度は県内シェフによるシェフズキッチンのほか、かき氷など注目度の高い食のプレミアムイベントを開催しました。											
R4年度の取組・成果 農産物のブランド化や、奈良まほろば館等でのプロモーション活動で食のブランド力を強化するとともに、奈良フードフェスティバルや県内オーベルジュのPRなど、奈良の食を楽しむ機会の拡大を図りました。また、令和4年12月のガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム奈良県開催では奈良の食の魅力発信を広く行いました。											
関連指標											
奈良県アンテナショップ うまいものプラザ来客数(人)	<table border="1"> <tr> <th>指標の動き</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>82,126</td> <td>64,313</td> <td>65,806</td> <td>85,515</td> </tr> </table>	指標の動き	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		82,126	64,313	65,806	85,515
指標の動き	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度							
	82,126	64,313	65,806	85,515							
協定農産物直売所締結数[累計](店舗)	<table border="1"> <tr> <th>指標の動き</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>37</td> <td>37</td> <td>41</td> <td>42</td> </tr> </table>	指標の動き	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		37	37	41	42
指標の動き	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度							
	37	37	41	42							

テーマ	(18) 海外・東京プロモーションの展開
-----	----------------------

責任者	観光局 観光プロモーション課長
-----	--------------------

戦略目標(KPI)
令和5年度までに海外及び国内向けホームページ(「The Official Nara Travel Guide」,「あをによしなら旅ネット」)の合計アクセス者数を14,000千人/年にします。

基準値	実績値(a)	進捗状況		目標値 (達成率)
		目安値(b)	進捗率(a/b)	
H 29	R 4	R 4	87.0%	R 5
10,795	+ 921 千人 11,716	13,465.8	③90%未満	14,000 (28.7%)



評価(基準値からの動向、直近の動き、進捗状況等)

平成29年度の海外・国内向けホームページアクセス者数は10,795千人で令和元年度まで増加していました。令和2年度は9,638千人に減少しましたが、それ以降は上昇傾向にあり、令和4年度は基準値を921千人上回りました。

背景・要因等

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内外の観光需要が大幅に減少しましたが、国内の旅行需要喚起のための施策、また、その後国のインバウンドの本格的再開により、観光情報が求められてアクセスが増加しています。

R4年度の取組・成果

魅力あるイメージ写真を豊富に用いて定期的なコンテンツ更新を行い、ビジュアルで惹き付けるサイト構成を意識して観光情報を発信しました。当該取組が前年度より海外・国内向けホームページアクセス者数の増加率が高くなった要因の一つと考えられます。

関連指標	指標の動き			
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
「あをによしなら旅ネット」のコンテンツ更新回数(回)	2,289	1,947	2,937	2,948
「The Official Nara Travel Guide」の追加コンテンツ数[累計](件)	9	15	20	26